



インフラ施設の被災情報の収集について

～大雨などにより壊れた河川堤防などを見つけた時～

～あなたの“その一報”をお願いします～

令和4年7月25日

施設災害対策課長 浅野 寛



近年、全国各地で大規模災害が頻発しています。

令和元年東日本台風（台風第19号）による被害 千曲川（長野県長野市）
（国土地理院ホームページより）



災害が発生！

県民の皆さんの生命、財産を守る

➡日常生活を取り戻す……河川、道路などのインフラ施設の復旧

迅速な初動対応がポイント ➡ 情報収集が重要



県民の方から 緊急的な対応が必要な被災情報を タイムリーにいただくためには？

考えられる課題など

- ★限られた人員、時間のなかで全てに対応できるか
- ★大きな被害やその復旧に時間を要するような被災情報が早期に欲しい

1. 三重県の過去の災害
2. 被災直後の緊急対応
3. 現在の情報収集
4. 三重県の新たな取組
5. 他県などの取組事例
6. 取組の目標



1. 三重県の過去の災害

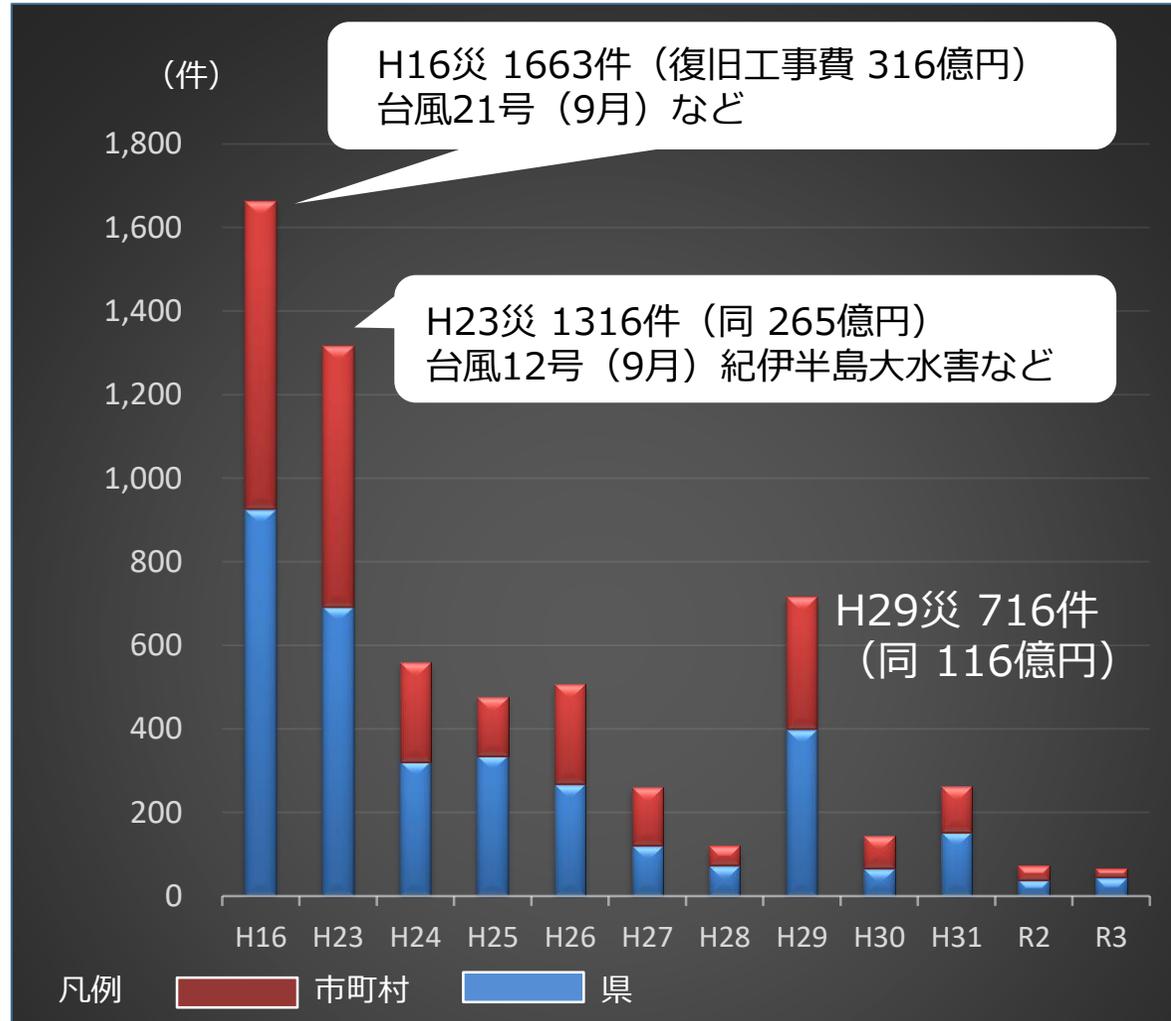
H16災 二級河川赤羽川（紀北町）



H23災 二級河川井戸川（熊野市）



近年の災害件数と復旧工事費



★三重県内でも、毎年、災害が発生しています



2. 被災直後の緊急対応

災害が発生したら……

初動対応がポイントのひとつ → 情報収集が重要

土砂崩れにより道路が使えなくなった事例

平成29年10月(台風21号)の豪雨 松阪市内の国道166号で土砂崩れ



大型土のうで応急対応
当日中に通行止めを解除

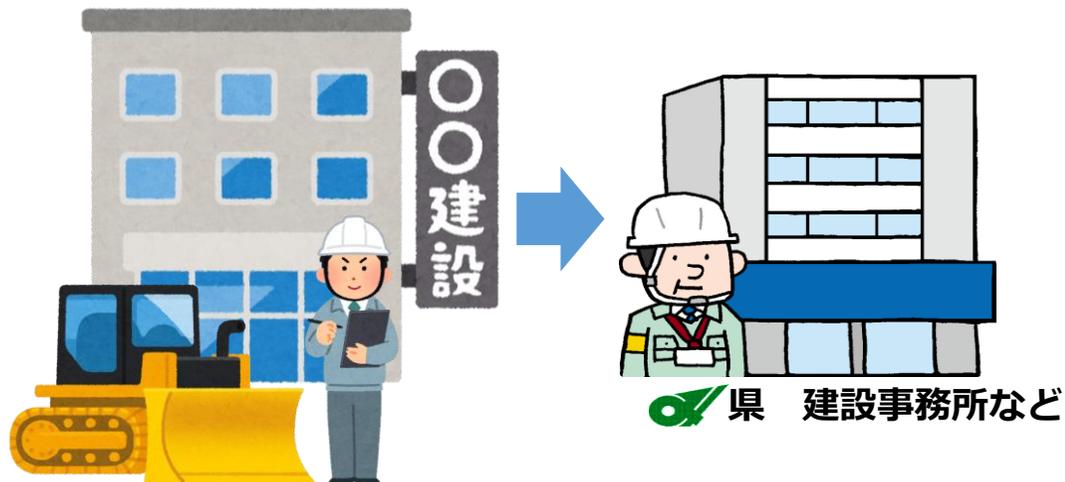


1. 職員などからの情報

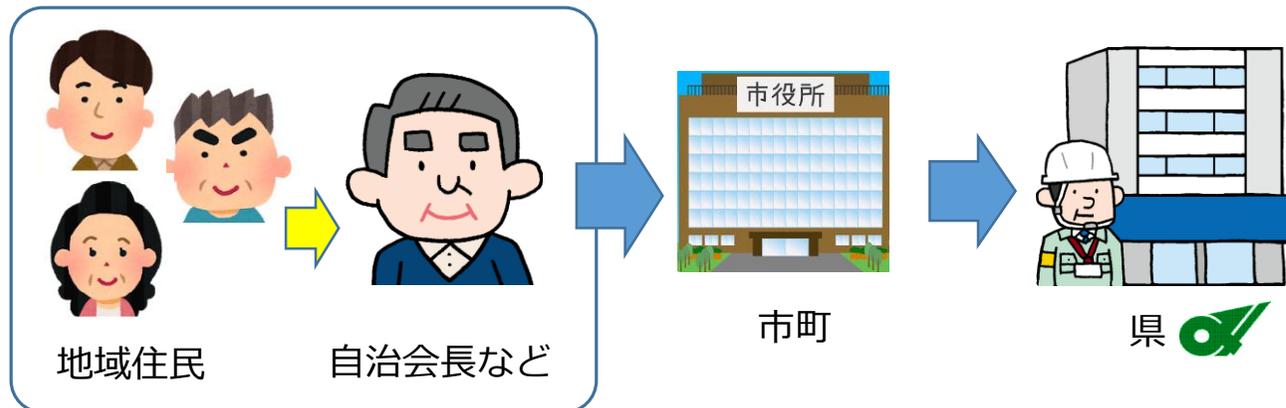
(1) 職員のパトロールや国などからの情報



(2) 建設企業からの情報



2. 地域の方などからの情報



自治会長など地域の代表者から市町を經由いただくことで、..

- ① 各施設管理者へ振り分け (窓口の1本化)
- ② 受付の効率化
- ③ 優先度の把握

→ 加えて、より早く情報を収集する方法は.....

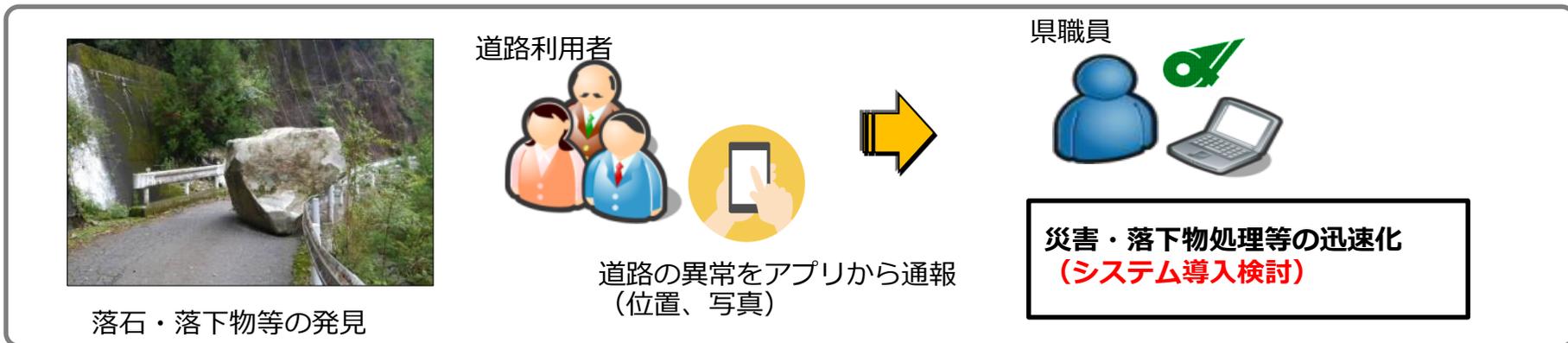


4. 三重県の新たな取組

(1) 現場の映像をリアルタイムで共有するシステムづくり



(2) 道路通報システム導入の検討（R4年度～）



和歌山県の取組

「道路異常等通報システム(アプリ)」

- ◆道路の異常(落石、陥没、不法投棄など)を県民の方からアプリを使って通報してもらおうシステム
- ◆R2年2月から運用

- ・事前にアプリを登録
- ・発見された道路の異常状況を撮影。コメントを添えて、投稿。

↓

道路管理者が確認

↓

補修などを実施

(和歌山県のホームページより)



出典：(和歌山県HP)<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080300/d00203419.html>

国などの取組

「道路緊急ダイヤル(#9910)」

- ◆全国共通の専用ダイヤル
- ◆道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状が対象

道路の異状を発見したら

道路緊急ダイヤル #9910
全国共通 24時間受付無料

路面の汚れ(油・土砂)	路面の穴まこ・段差	路面の落下物
ガードレール・標識等の損傷	落石・土砂流入等の災害	その他、路肩の崩壊を気付いたら通報してください。

みなさまのご協力をお願いします。

- 1 異状発見**
道路の異状を発見したら「9910」に電話してください
- 2 通報**
電話をかけた後音声ガイドに従って通報してください
- 3 補修**
道路管理者が早急に対応します
- 4 道路復旧!**
新たな通報が道路の早期復旧につながります!

※通報受付時間：24時間受付無料

※通報受付先：国土交通省道路局(03-347-6363) 国土交通省道路局(03-347-6363)



取組の目標

- ・**緊急対応が必要な情報を迅速に収集できる仕組み(づくり)**
- ・**全ての県民が災害を自分事として捉える社会(づくり)**
 - ➔ 迅速な災害対応につながります
 - ➔ 県民の生命、財産を守ることに繋がります

「あなたの“その一報”をお願いします」

<聞きたいこと>

必要な被災情報をタイムリーにいただくためには？



皆様からいただいたご意見を参考に、
今後の取組につなげてまいります。

ありがとうございました。